

令和3年度 第14回政策推進会議報告

日 時 1月6日 9時30分～10時40分

場 所 WEB会議室

出席者 19人

1 年末年始の業務状況等について

危機管理安全部長から報告

- ・12月は土日を含め31日まで、例年市内主要駅の防犯パトロールを実施している。
- ・ひったくりは12月には市内で発生しておらず、令和3年度の認知件数については平成30年の16件を大きく下回る10件となっている。
- ・自転車盗難は、昨年度は1,200件ほどだったが現時点の見込では11月末時点で921件であり、昨年度を下回る程度で推移しており、最終的には1月末頃に警察から速報値が発表される予定である。
- ・年末には雪の関係で一部警報が出るという話もあったが、結果的には注意報で、特に自然災害等は発生しなかった。
- ・今年も危機管理安全局としては引き続き、自然災害や市内の交通安全も含めた安全対策に努めてまいりたい。

総合政策局長から報告

- ・年末年始は広報課が新型コロナウイルスの関連報道対応として、記者発表資料の市政記者への送付及びホームページへの掲載業務のため、12月29日と30日、1月1日と3日の4日間で各1名が出勤した。
- ・後ほど消防局長からも報告があると思うが、12月30日に潮江3丁目で火災が発生し、小田地域課の2名が対応した。残念ながらお1人の方がお亡くなりになられ、他1名の方については福祉会館への避難の斡旋を行い、1月3日には別の所へ移られている。
- ・これとは別にもう1件、大庄地域課の2名が12月29日、大庄西町で発生した火災に対応するため出勤した。
- ・抱負としては、年男で60歳を迎えるにあたり、特に大きな問題を引き起こすことなく過ごしたいと思っている。

資産統括局長から報告

- ・年末年始の警備室での届出の受付件数は、12月29日から1月3日までの6日間で計118件。1日当たり約20件程度で、去年は143件だったので例年に比べると若干少ない。118件のうち主なものとしては約7割の83件が死亡届で、婚姻届が22件、出生届が4件で、死亡届がその大半を占めている状況である。
- ・現在取り組んでいる工事の関係で、少し遅れが生じている立花南生涯学習プラザ及び大西保育所の新築工事、地域総合センター上ノ島の新築工事について、12月30日まで工事を進

めていた関係で、職員が各1名、計3人が2日間出勤し、現場管理等の対応に当たった。

- ・今年の抱負としては、私もちょうど60歳を迎える年であり、これまで取り組んできた「未来へつなぐプロジェクト」が令和4年度で終了するというので、今、当初予算の編成作業を行っている最中だが、まずは財政目標、また財政規律に沿った令和4年度当初予算を成立させるのが当面の目標である。

総務局長から報告

- ・コールセンターへの年末年始のコール数は615件で、昨年度の616件とほぼ変わらない。主な内容は、市役所各課の年末年始業務について115件、新型コロナウイルス感染症関連は82件で、非課税世帯に対する給付金についての問い合わせが年末に10件ほどあった。
- ・今年度からコンビニ交付している証明書が年末年始も交付可能になり、年末年始に419件の交付実績があった。内訳は住民票の写しが242件、印鑑登録が125件、住民票の記載事項証明が29件、税務証明が23件であった。
- ・各局には新型コロナウイルス感染症の関係で濃厚接触者あるいは感染者が出た場合の報告をお願いしており、年末年始は1件濃厚接触者が出たが、検査の結果は陰性で感染者はゼロであった。
- ・今年は、先ほど申し上げた非課税世帯に対する給付金を総務局中心に実施していくほか、2月からはおくやみコーナーを開設する。また、各局それぞれに業務量の増などあると思うが、年末から感染者数が増えてきているので、引き続き、断続的な応援体制へのご協力についてよろしくお願いしたい。

医務監から報告

- ・休日夜間急病診療所は12月29日から1月3日の6日間、内科・耳鼻咽喉科及び眼科は毎日朝9時から翌朝6時まで、小児科は朝9時から深夜0時まで開設し、合計1,084人が受診された。昨年比では約30%増だが、例年に比べると約70%減で、新型コロナウイルス感染症の検査を受けた方は78名であった。
- ・斎場は元旦と12月31日の友引は休み、4日間開設して70件の火葬を行った。
- ・保健所の新型コロナウイルス感染症対応は、相談件数が174件あり、衛生研究所では6日間で48件の検査を行った。6日間の陽性患者数は14名で、うち無症状4名、軽症10名。一番多かったのは元旦の8件で、年末年始に対応した人員は延べ90名であった。昨日大阪で244名の感染者の報告があったが、本日、本市の発表は11名。2桁が1週間継続するようになれば、翌週は第2段階の25人から50人になると想定している。この2桁が0になったり1になったりするので安定していないが、2桁が安定するようになれば、第2段階として翌週から局外にも応援をお願いすることになるので、よろしくお願いする。
- ・今年3月で退職なので、最後に第6波の対応と3回目の予防接種、課題の解決を頑張りたい。

健康福祉局長から報告

- ・12月29日に北部保護第2担当へ生活保護受給者から財布を落としたという連絡が入り、

生活支援をしてくれる団体の情報などをお伝えした。結果的には食料も家に多少あるので、何とか年末年始は自分で過ごすということとなった。

- ・総合政策局長からも報告があった2件の火災について、福祉課では小災害見舞金の緊急対応が考えられたが、ご本人等と確認したところ親戚の所に避難されるなどで、緊急対応の要請はなく、年明けに対応することとなった。
- ・各社会福祉施設等で感染者が発生した場合の調査や衛生用品の配付等に備え、法人指導課で1名が出動して待機、もう1名が在宅ですぐ対応できるよう待機という形で、輪番制で年末年始に出動したが、結果的に対応する事案は発生しなかった。
- ・今年は様々なコロナの問題をはじめ、他の事業についても同様にしっかりやらないといけない。来年は特に重点課題事項でも挙げているとおり、重層的支援体制の整備事業があり、包括的に様々な相談に対応できる体制を整備していく。うまく軌道に乗るよう、局をあげて、また他局にも協力をいただきたいと思うのでよろしく願います。

こども青少年局長から報告

- ・こども福祉課で12月31日と1月3日に、子育て世帯への臨時特別給付金に関する事務のため延べ4名が出動した。
- ・1月4日から供用開始予定の北難波保育所に関する移転作業で12月29日と30日、1月3日に延べ54名が出動した。
- ・抱負としては、重点課題の取組はもちろんだが、最近特に感じているのは局外との連携はもとより、局内の連携も実は十分ではないということで、連携意識の醸成、実践ということをしっかりやっていきたい。

理事（こども青少年局参与）から報告

- ・このあとの議題でも出ているが、児童相談所の設置準備が本格化してくるので、そちらに十分邁進していきたい。見守り強化事業など、困難な状況にある子どもたちがまだまだ多数いるという状況を踏まえ、そういった子ども達の支援をしっかり行っていきたい。
- ・また、昨年度、子どものための権利擁護委員会やユースカウンスルなどが設置され、子どもや若者の意見表明を後押ししながら、子どもや若者、子育て中のファミリー世帯にとって魅力ある尼崎をつくっていくということに邁進したい。

経済環境局長から報告

- ・ゴミ収集は年末12月31日まで、年始は1月4日から燃えるゴミの収集を始めており、トラブルなく進んでいる。
- ・地方卸売市場についても、年末は30日まで開場し、年始は5日から初売りが開始され無事に進んでいる。
- ・尼崎城については年末28日までの営業で、元旦、2日と営業し合計で394名の方にご来場いただいた。先着100名への振る舞い酒や枍も午前中には売り切れの盛況であった。御城印は毎年デザインを変えているが、500枚刷った関係でまだ在庫がある。

- ・他局からも報告のあった30日に発生した小田の家屋火災については、関西電力の柱上トランス、電信柱に取り付けられた安定器から油の漏えいがあった。これについてはPCB含有の疑いがあるということで、現在もまだ調査中であるが、業務課と環境保全課、産業廃棄物対策担当の職員が出動し、周辺環境への汚染の恐れはないということを確認しているので安心いただきたい。
- ・今年の抱負としては、年末年始に色々と新聞やテレビなどを見てみると、森永卓郎さんの記事があり、企業の場合、社員さんの幸福力が高い企業の収益力は非常に高いという話をされていた。仕事がしんどくても職員の幸福度を上げていくことが大事だと思い、私の今年の目標は職員の幸福力を上げることとし、頑張って取り組みたい。

都市整備局長から報告

- ・先ほど報告のあった12月30日の潮江3丁目での火災に伴い、道路関係の職員が出動した。結果として、油の件については周辺への環境汚染はないが、被災家屋が崩れそうになっており、二次被害を防止するため現在も通行止めになっている。また、密集市街地での火災で当日は風も強く、消防のおかげで2時間で消し止められたが、4件が類焼した。うち1軒が空き家で、その対応、撤去までに時間がかかると思うが、補助制度の活用も踏まえ、所有者と連絡を取って対応していきたい。
- ・今年の抱負としては、私事だが娘が東京で住む場所を探すことになり、年末年始にネット上で探していたが、いわゆるZ世代の娘と、X世代の私が見るサイトが違うというか、アプローチの仕方が全然違うことを感じた。本市でも、来て住んでみると良い街だとわかるが、なかなか短い時間で住む場所を決めなければならない方も多し、Z世代ではイントロのない歌が流行っている様に、素早く住む所を見つけたいというニーズに応えるためにも、人の目に触れてもらえる様に街の良さを、都市整備局が取り組んでいるエリアブランディングなども交えて、いかにネット上でうまく発信するかが重要だということを実感した正月でもあった。エリアブランディングをいかに人の目に触れる様な取組にするかということに注力したい。

消防局長から報告

- ・年末年始の6日間では、年末に火災が4件発生し、そのうち潮江3丁目での火災で高齢の方が1名亡くなっており、29日に大庄西町で発生した火災では負傷者が2名おられた。
- ・年間の火災件数としては、昨年よりも30件増えて112件となっている。去年と一昨年と80件台だったが、また3桁に戻ってしまった。
- ・年末年始の救急件数は559件で、1日あたり約93件。コロナの疑いで搬送したのが23件で陽性者は1件。
- ・年間の救急件数は2万8,198件で、昨年よりも若干、213件ほど減っている。
- ・年末年始における一人暮らしのお年寄りの閉じ込め救助等の事案は、6件発生しており、年間件数が342件で、昨年とほぼ同じ件数となった。
- ・今年の抱負としては、私も年男で、3月31日が誕生日なので誕生日と同時に退職ということになっている。3月まで精一杯頑張りたい。まずは1月9日の消防出初め式をよろしくお

願いたい。

議会事務局長から報告

- ・年末年始期間中の動きとして、28日の晩、恒例となっている建設消防防災委員による年末火災特別警戒の激励巡視が行われた。
- ・新年の抱負として、消防局長と同様にこの3月で定年を迎えることとなるが、まずは早々に臨時会の開会が予想されているので、総合政策局と連携を図りながら、円滑に準備を進めていきたい。またその後にはすぐに予算議会も控えており、会議中に追送等が生じた場合は、日程変更等に柔軟に対応していくとともに、提出された議案の審議が円滑に進むよう努め、最後の議会を無事に締めくくれるよう頑張っていきたい。

梅山教育次長から報告

- ・年末年始の業務状況だが、中央中学校と常陽中学校のトイレの整備工事をしており、その関係で施設担当の職員が12月29日に出勤して対応した。
- ・今年の抱負としては、いよいよ1月12日に中学校給食が開始されるということで、担当職員も追い込みでピリピリしながら色んな準備を整えている。まずは12日にしっかり給食の提供が開始できるように準備を進めていきたい。それと次年度に向けては、社会教育課で進めているコミュニティスクールについて、学校の方でも色々と順調に取り組んでおられ、機運も徐々に高まっているので、しっかり進めていきたい。

東教育次長から報告

- ・年末に市立学校関係者でコロナ陽性者が1名出たが、学校運営には特に支障はなかったので、電話やりモート等で学校と連絡調整を行い、事務局職員の出勤には至らなかった。昨年10月末から市立学校園の幼児、児童、生徒の陽性者は0だったが、年末に陽性者が出たということで、学校も連休明けの11日から始業式を迎えるので、第6波に備えて各学校園でも感染対策をしっかりと行い、子どもたちの学びを出来る限り止めないようにしたい。
- ・また、これから入試のシーズンに入っていくので、その対応についても、子どもたちにとって不利益にならないよう、しっかりと対策を講じていきたい。
- ・今年は世界的にも注目を浴びている就学前教育、ここをしっかりとしておくことで就学後はかなり結果が出るというのが世界的にも言われているので、市立幼稚園のあり方検討会の報告を踏まえて役割を整理し、インクルーシブ教育及び幼保小連携事業などを充実させていくことを中心とし、関係局とも連携しながら、市としての就学前教育の質の向上を図る体制を構築していきたい。そのほか、学力向上や医療的ケア実施体制ガイドライン策定を含めたインクルーシブ教育の構築、また市立高校改革等についても引き続き着実に進めていきたい。

教育長から報告

- ・来週から新学期が始まるが、第6波、オミクロン株が流行しているということで、これまでの経過を踏まえ、闇雲に恐れるのではなく冷静に対処していきたいと思っている。今年は壬寅

ということで、新しく立ち上げること、生まれたものが大きく成長するという意味があると聞いており、昨年、今年と尼崎市の教育においてはこれまで蒔いてきた種が膨らみつつあって、大きく花を咲かせなければならない状況となっている。中学校給食センターや、全国学力調査で小学校6年生の算数が全国レベルに並んだということもあるので、これらを着実に進めていかなければならないと思っている。

- ・子どもたちのコロナ禍における体力については昨年末に報道があり、昨日少し概要の報告を受けたばかりなのでもう少し分析をする必要があるが、尼崎の児童生徒の体力について、スポーツ振興事業団の指導者派遣の協力もあり、体力テストでは少し改善が見られている。県全体での体力テスト結果は少し落ちているが、尼崎は少し改善しつつあるということで、成果が出てきているので、本当の意味での体力が付いているのかどうかを引き続き分析していきたい。
- ・両次長からも話が出ているが、大きな課題である就学前教育や市立高校の改革などについても、現場とのコミュニケーションを図りながら着実に進めていきたいと思っている。尼崎の教育の雲間に光明が見出せる結果も出てきているので、これを大きな花を咲かせるという意味で着実に進めていきたい。

公営企業管理者から報告

- ・年未年始の業務状況として、上下水道部での管路の維持修繕業務において、修繕2件、漏水等の確認6件、下水の詰まり1件を対応した。
- ・神崎浄水場では12月31日と1月3日に水質の検査業務で職員がそれぞれ2名出勤した。
- ・ボートレース部では、今年もありがとう競争が12月25日から30日まで6日間行われ、売り上げが21億8,700万円で前年よりも40%アップしている。入場者数は1万7,500人で前年よりも0.8%減っているが、おそらくこれは電話投票の伸びが大きく影響していると思う。また、このレースに出場した選手5人がコロナ陽性になってしまい、これを受け、1月3日に競走会の職員及び選手のPCR検査、陽性者が立ち入った箇所の消毒を行い、検査結果で陰性が確認できたことを踏まえ、1月4日からレースを行っている。
- ・今年の抱負としては、昨年に汚職事件があり皆様にも大きくご迷惑をおかけしたが、改めてコンプライアンス意識の浸透、それを支える人材育成について十分に取り組みたい。個人的にはコロナを避けて年末に、幸先参りということでおみくじを引いたがなんと凶を引いてしまい、これ以上もう悪くならないなという風に思い、本年は上昇気流で頑張っていきたい。

吹野副市長から報告

- ・令和4年、私は福祉局担当だが、例えば急病診、児童相談所の設計や社協会館移転に係る工事など、割とハード的な事業の予定が入っているほか、局またぎの課題も非常に多いので、そういったことの調整についても例年に増して励みたいと思っている。
- ・個人的にはコロナ禍で非常に体力も落ちていることを実感しているので、なんとか回復したいと思っている。

森山副市長から報告

- ・今年の抱負として、まず年度当初に掲げた3つのテーマがあったが、1つはウィズコロナ、ポストコロナの経済の再生・進化。2つ目がゼロエミッション。3つ目が都市の魅力づくり。これらについては一定の進捗が見られたと思っているが、これを一層進め、見える化していくために、多くの局の連携などをサポートできるよう取り組みたいと思っている。
- ・外郭団体についても一定、中長期的な方向性が見出せた団体もたくさんあるので、これを着実に進め、単年度ではなく少し長期的な目線で、それぞれの経営方針を出していきたい。
- ・個人的な話では吹野副市長と重複するがやはり健康と、年齢に伴うものか、ヒヤリハットに気をつけながら頑張っていきたい。

市長から報告

- ・まずは年末年始の業務に対応いただいた職員の皆さんに心から感謝を申し上げたい。
- ・報告で印象的だったのは1つの火災がこんなにも多くの局の対応を必要とすること。火災の種類にもよるが、しっかり連携しながら対応してくださっていることを実感した。
- ・コロナ対応も丸2年を超えて3回目のお正月ということになった。イレギュラーなことも多くあったと思うが、全庁一丸で取り組むことができていることを大変誇らしく思い、改めて、重ねて感謝申し上げたい。オミクロン株の感染拡大が懸念される中での新年だったが、市民の皆様も少しずつ慣れてきたというか、比較的冷静な対応になりつつあると感じている。今後もしっかり感染対策をしていくことと、やはりコロナ禍で何をどこまで犠牲にするのかというバランス感覚がより一層強く求められ、価値観も分かれてくるところかと思う。例えば子どもたちはその学年は一度きりなので、行事なども少しずつ実施できるようにしてほしいというご要望も、メール等で頂戴するようになっていくし、経済をしっかり回していくことについてももちろん重要かと思っている。やはりマスクを外しての食事会などはまだ引き続き、高い警戒が必要だと思うが、メリハリをつけて対応していくことが大事と思っている。また、重症化リスクがそこまでではないとしても、感染者は急増する可能性があると思うので、医務監からも話があったが、動向をしっかり注視しつつ、フェーズに応じて臨機応変に対応していきたいと思うので、また全庁的な応援についてもよろしくお願ひしたい。
- ・非課税世帯への給付の問い合わせが10件ほど入ったと報告があった。例えば年金生活の方や生活保護の方の収入にはそんなに変化がないのかもしれないが、マスクの着用が必ず求められるなど、普段より物入りになる部分もあるかもしれないので、より脆弱なところには一層強い影響が出るというのが、このコロナ禍だと思う。出来ること、出来ないことがあるとは思いますが、私たちが寄り添う姿勢をしっかりと見せていくということが非常に大事かと思うし、実際の施策でも皆さんの生活をしっかりと支えていくという、本来の行政の大きな使命を忘れることなく、このコロナ対応についても頑張っていきたい。
- ・私自身の抱負と混ざってはくるが、今年は総合計画の改定作業が大詰めになり、令和4年度は「未来へつなぐプロジェクト」の最終年度ということで、私たちのまちづくりも非常に大きな節目を迎える。これまでファミリー世帯の定住・転入促進をはじめとして、具体的な目

標を立てながら、そして都市の体質転換を掲げながら取組を進めてきた。もちろんまだまだ課題はあるが、方向性としては目指す方向に着実に歩みを進めていると感じている。一方で先の見通しが立てにくい状況はまだまだ続いており、財政状況についても、油断するとすぐに悪化してしまうので、市債の残高等も粘り強く減らしていかないといけない状況に変わりはないので、バランスを取りながら、引き続きこの成果の部分をしっかり伸ばせるよう、次の計画に繋げていきたい。年頭の冒頭の挨拶でも申し上げたが、コロナ禍ではあるものの尼崎市は今、非常に大きく動いている感覚を皆さんも共有してくださっているのではないかと思います。特にハード面では各駅プロジェクトが進んでいるように、ソフトを支える面でのハード面でも非常に動きがあり、財政をしっかり引き締めながらではあるが、市民の皆さんにも実感していただける変化がこれから大きく出てくる段階かと思う。ネットでの情報発信の大切さについての話もあったが、本当に次の総合計画の期間では、やはり私たちがここまで進めてきたまちづくりの成果をしっかり市民の皆さんが実感できる、それが基盤になりエネルギーになって、またその市民の力がより発揮される、そしてシビックプライドが高まっていくという、良い循環をしっかり確たるものにしたいと、気持ちを新たにしているので、皆さんも引き続きのご協力をお願いしたい。

- ・また、今日の報告で印象的だったのは皆さんが横の連携についてよく話されていたこと。局内、局間、庁外との連携、外郭団体も含めてのチームワーク。これまでもオール尼崎、ワンチームとよく言ってきたが、本当に掛け声だけでなくそういったことの意識が強くなってきたことをすごく、心強く思っている。もちろんまだまだ取組は道半ばだが、この意識はすごく、尼崎市の基礎体力というか大きな財産になっていっていると思う。財政的な面だけでなく市役所組織の体質転換も少しずつ進んできていると思っており、市民の皆さんや団体の皆さんから、そういった変化を感じているよ、市役所頑張ってくれているよ、とお声をかけていただくことが増えたと思っており、本当にこれはすごく嬉しいことである。もちろんお叱りもたくさんいただくが、少しずつ私たちの取組が広がってきていることの証拠かと思うので、ぜひ皆さんと共有して、より一層多くの人たちとの連携スキルを上げていくことを今年も頑張っていきたい。
- ・そしてもう1つ大きな節目があり、申し上げるまでもなく、今年は私にとっては市長3期目の任期の最後の1年であり、秋には市長選挙が予定されている。来年度に向けた政策調整等も少し早めに進めるなど、4年に1度はこういった対応をお願いしていくことになると思うが、いずれにしても尼崎の今の動きを止めることの無いように、更に前へ進めていけるようにとの気持ちで、私も全力で頑張っていきたいので、よろしく願います。

2 （仮称）尼崎市こども家庭センター設置基本方針（素案）に対する市民意見公募手続の結果及び（仮称）尼崎市こども家庭センター設置基本方針（案）の策定について

こども青少年局長から資料に基づき報告。（以下、質疑等）

- ・（市長）児童相談所は令和8年度のオープンを目指しているが、ひと咲きプラザの敷地内に建設するための都市計画上の手続きが必要で、地域の皆様にしっかりと安心してもらえるよう

説明を丁寧にしていくことが大事で、対応できる部分があればしっかり対応していく。また、こども青少年局だけでなく全庁的な取組になっていくと思うので、よろしく願いしたい。

以 上